



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

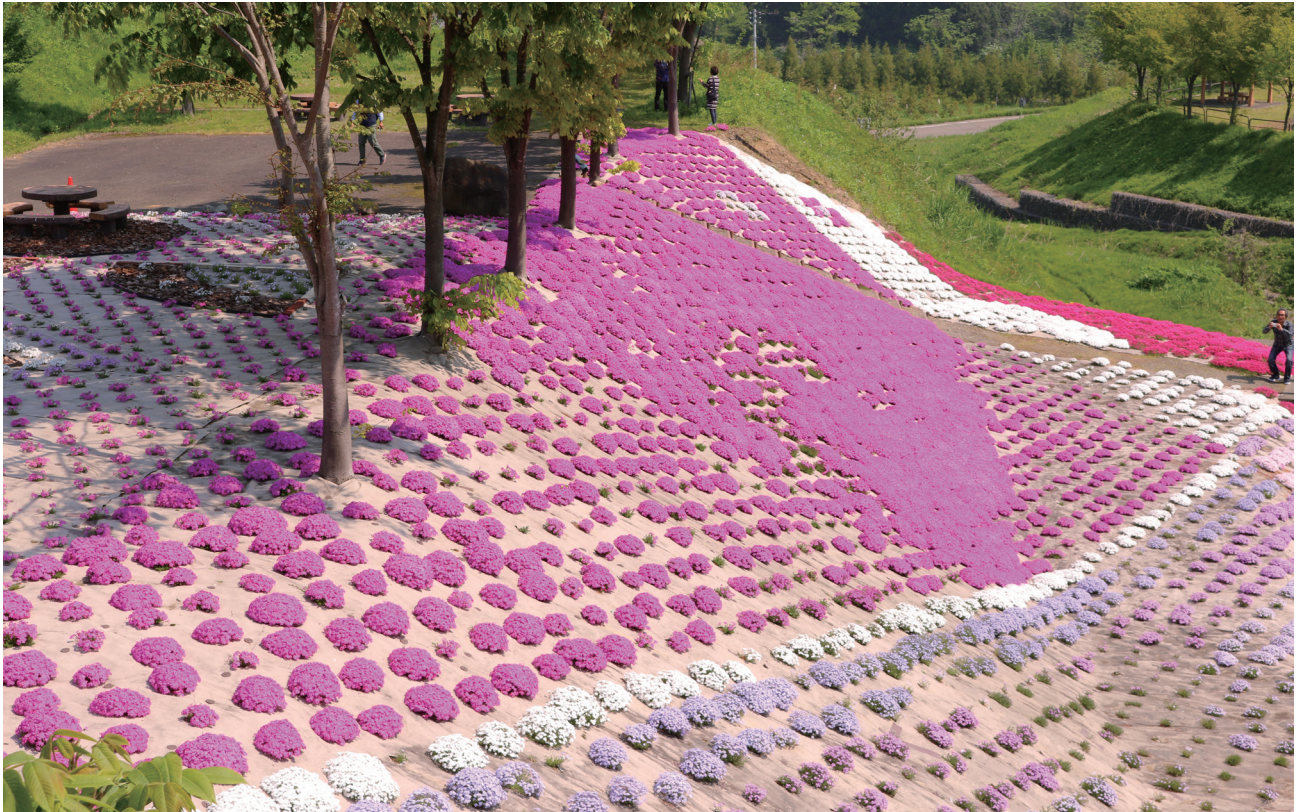
●本庁担当:上越市 総合政策部 多文化共生課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5674

ホームページ⇒

ふるさと上越



板倉の芝桜 撮影：渡辺 信行さん

「たより」No.288 目次

会員数と「ふるさと市場」報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
同窓会・郷友会コーナー	4
とれたて上越	5
上越の行事・展示会	
いにしえ上越	5
エドウィン・ダンがやって来た頃、 直江津は鉄道建設の真っ只中だった。(その3)	桑山 有紀
上越産品販売のお知らせ	7
鯉橋師匠高座予定	7
会員ひろば	7
令和5年3月と小川未明「野ばら」	溝口 良二
上越市からのお知らせ	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、
「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は602名(令和5年5月31日現在)です。(令和5年度目標610名)

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和5年5月) 75点 107,357円 (前年同月 69点 90,960円)

1. サロンは、5月11日・6月8日にオンラインで開催

この日は理事会が長引き 17:15 ころに始まり、参加者の数だけ話題也多岐にわたり、大いに盛り上がりしました。WBC の興奮が冷めやらず、日本の野球観戦では物足りず、応援もアメリカ遠征の話まで飛び出しました。また、お二方からは、初めて救急車に乗った話や突然の手術の話で緊迫の空気が流れ、それに絡めて、生野菜からのカリウムの摂り過ぎの注意喚起、また食物の陰陽表の紹介がありました。辛味は陰（イン）だそうです。東京の蕎麦屋巡りの話には、みな興味津々、それぞれのごひいきのお店を思い浮かべながら聞き入りました。写真集「雁木の歩き方」から雁木にまつわるふるりの思い出話にはほっこりしました。ふるさとの有難みを実感するひと時でした。

【次回以降のサロン】

今回は、7月13日（木）は新潟県人会館を予約していますが、リアル開催は6月8日の運営委員会で決定いたします。詳しくは6月9日以降ホームページ（H.P）をご覧ください。

ご照会やご参加は、事務局（宮里）k.miyazato@araip.co.jp、TEL：03-5244-5138 までお願いします。



5/11 ご参加のみなさん

2. 前島密翁墓前祭 4年ぶりに開催

令和5年4月22日、前島密翁墓前祭が4年ぶりに再開されました。密翁が余生を過ごした横須賀の墓寺浄楽寺で、墓前祭は11時から執り行われました。

200名余の出席者、上越市からも27名、当会も伊藤前会長はじめ5名が参列。墓前祭は、中川幹太上越市長や上地横須賀市長等の来賓の方々から、前島密翁の偉功を称えるご挨拶がありました。

その後、逗子駅近くで、同行の当会会員の馴染みの店へ。この店ならではの刺身など絶品揃いで大いに堪能し、来年の密翁墓前祭もぜひ出席と話合いました。

溝口 良二



3. 4年ぶりに定時総会を開催

令和5年度定時総会は、5月27日（土）、アルカディア市ヶ谷にて、出席者60名に絞って、開催しました。中川幹太上越市長はじめ多文化共生課の太田貫治課長、同・山本栄美副課長、それに、榊原家第17代当主榊原政信顧問、上越ケーブルビジョン（株）齋藤俊幸社長らに加え、初めて郷友会3会の代表も出席され、議案は全て承認され、新会長に小坂庸雄氏が選任されました。

総会に続き、新・副会長の瀧川鯉橋師匠の落語、懇親会のくじ引きがあり、久方ぶりの再会に、丸ナスなどふるさとの味も彩りを添え、あちこちで話の輪が広がり、和やかな集まりとなりました。その勢いは、出席者の半数弱も参加した二次会にまで続き「本当に本当に楽しかった」と出席の方々からお声をいただきました。



市長さんよりご祝辞をいただきました。



新会長 小坂庸雄 挨拶



前会長 伊藤利彦 挨拶

感謝の5年間

第4代会長 伊藤 利彦

当会創設立役者の和久井会長急逝により、会員歴浅き小生が代表となって5年間、会員懇親と上越の応援を掲げてやってきました。会員志向をより強めて「たより」とHPを全面改訂し、ふるさと市場にも力を入れ、会員数減少は収まりました。が、後半3年間は、コロナ禍でリアル会合ができず、めざしたことは半分もできませんでした。拙いながらもやってこれたのは、ひとえに、市のご指導ご支援のもと皆様方の多大なご尽力のおかげです。深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

混迷の時代にあって、「ふるさとを持つことのありがたさ、そのふるさとを応援できる喜び」との思いを求めています。会の盛り上げこそがその答えと思えます。小坂新体制への倍旧のご支援を強くお願いいたします。

会長就任ごあいさつ

つねお
第5代会長 小坂 庸雄

このたびは、会長にご指名下さいまして、誠にありがとうございます。

大役を努めることとなりますが、市から引き続きご指導・ご支援を頂き、会では副会長、理事をはじめ会員の方々のご協力を頂いて活動を進めてまいります。そして、伊藤前会長がコロナ禍にもかかわらず進められた改善・改革を、少しでも前進させたいと思います。何とか活動を盛り上げて会員相互の親睦を一段と深め、更にはふるさとへの恩返しに繋がたいという気持ちでいっぱいです。

また近々、対面での活動を本格実施する予定ですので、これも強い味方になります。

皆様何卒よろしくお願い申し上げます。



上越ばんざい！

4. 第46回勉強会の報告 — 昭和館 —

令和5年5月27日（土）に第46回勉強会を3年ぶりに再開しました。参加者は6名。今回の勉強会は平成11年に設立された昭和館の見学でした。館内には戦中から昭和30年頃までの庶民生活を伝える生活用具等の展示があり、中には言葉は知っていても実物を見たことのない千人針などもありました。また、映像・音響室には貴重な記録写真・映像などの視聴、SPレコードを聴くことができます。館内の展示品や写真・映像を視聴していると、子供の頃に引き戻された感がありました。また、上越関連では、玉井力三の小学三年生の学年誌の展示、昭和28年の上越・高田の航空写真からはその場所がどこかと皆の真剣な話合いの場から郷土愛を感じました。結局写真の場所は分らずじまいで終わったことには悔いがありました。昭和館を見学したことのない方は、一見の価値がある博物館なので、是非見学されることをお勧めいたします。



昭和館の隣にある九段会館（現在は東京九段会館テラスと言う）で昼食後に、九段会館の思い出として、「中学校の修学旅行でここに泊まった。」という話題が出てビックリしました。帰り際にエントランスホールに椅子を並べていたので、何かと聞くと今日ここで結婚式を挙げるための準備中とのことでした。

当会も今日から小坂新体制が始まるので、この出会いは幸先の良いスタートと思いながら、定時総会に向いました。

溝口 良二

5. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。https://joetsu.gr.jp/

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて増え続けています。内容も、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン（JCV）の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・パスワードにてログインしてください。

2023.6.30 まで



2023.7.1 より



同窓会・郷友会コーナー

高田高校校友会 東京支部総会・懇親会

新型コロナウイルスのために中止してきた定例の東京支部総会・懇親会が下記要領にて4年ぶりに対面開催されます。



開催日時
令和5年6月16日（金）
（受付開始は16:45）

開催場所
アルカディア市ヶ谷
3階 富士

写真、2019年総会

上越の行事・展示会

- (1) 第44回高田城址公園観蓮会 2023年7月15日(土)～8月20日(日)
高田城址公園の外堀(19ヘクタール)をほぼ埋め尽くす蓮は、規模・美しさともに「東洋一」と称されています。

お問合せ先 高田城址公園観蓮会実行委員会事務局
TEL: 025-543-2777

- (2) 第98回謙信公祭 2023年8月19日(土)・20日(日)

※8月18日(金) 前夜祭 詳細は決定次第順次観光 Navi に掲載されます。

今年は上杉謙信役を上越市民、または市内に通勤、通学されている方から募集されました。

また、出陣行列・川中島合戦の再現への参加募集が6月6日から6月30日です。去年は新潟県内からの参加者に限った応募でしたが、今年は県外からも参加できます。



お問合せ先
謙信公祭協賛会
(事務局: 上越市観光振興課内)
TEL: 025-520-5741



いにしえ上越

たより(令和5年4月25日号)に続き、桑山 有紀さんにご寄稿いただきました。

エドウィン・ダンがやって来た頃、直江津は鉄道建設の真っ只中だった。(その3)
桑山 有紀

【ダン達が去った明治(M)40年に富山方面は着工し大正(T)2年に開通。
これで3方向の結節が完成!】

敦賀以北は官設として建設されM32年には富山駅まで開通しました。富山～直江津間(富直線)は鉄道国有化法公布の後、M40年着工され直江津～糸魚川間は大正(以降T)元年に開通しました。富山側はM43年までに泊迄開通され、親不知海岸という北陸最大の難所がある泊～青海間はM45に開通しました。最後の青梅～糸魚川間がT2年に開通したことで、米原～直江津間の全線が開通し北陸本線となりました。



写真3: 写真集 明治・大正・昭和 高田・直江津
(上越郷土研究会編) 図書刊行会

その前年には駅前では写真3に示すいかやの八角形三層建物が完成しており、きっと直江津のランドマーク的建築物だったことでしょう。筆者の手元には、この建物を写した当時の絵葉書があり、関西に住む息子さん宛で「富山から到着したところ。駅前のいかやにて休憩中、その後に東京へ向かう。」という内容です。当時、北陸方面からの上京は一大イベントだったようです。中・下越そして佐渡から上京する人達にとっても直江津は休憩または一泊する中継拠点であり、直江津駅そして駅前商店街は多くの人達で賑わっていたことでしょう。

上述の通り、M18年に直江津にて鉄道建設が始まってから、19年後に高崎～直江津～新潟間が開通(北越鉄道の国有化の後に信越線となる)、そして更に9年後に信越線は信越本線と改称され、北陸本線が開通しました。3方向の路線が結節する“鉄道の要衝”直江津の原型は足掛け28年掛けて出来上がりました。

「汽笛一声新橋を・・・」から始まる鉄道唱歌(十和田建樹作歌)はM33年に発表され、その後作者不詳のものも追加編集されています。その中で直江津は次の通り唄われています。なおM33年には富山から直江津までは未開通だった為、佐渡から汽船で直江津へ到着し富山へ向かうには汽船乗り換えになっています。(○はオリジナル、△は追加分)

○ 港にぎわう直江津につきて見そむる海の顔

山の見なれし目にはまた沖の白帆ぞ珍しき

△ 右に見ゆるは佐渡島左に見ゆるは能登の国

曇にやあらん山にやと問えど答えぬ海女が舟

○ 波路さやけく直江津に帰りて聞けば越中の

伏木にかよう汽船ありいざ乗り換えて渡海せん



図2 直江津五智遊覧案内

(企画展 直江津今町と北前船の時代 上越市 HP より)

図2は大正時代のもので、大まかな地勢はエドウィン・ダン達がいた頃とほぼ変わらないでしょう。鉄道唱歌を口ずさみながら、鉄道建設の真っ只中だった120年程前の直江津に思いを馳せてはいかがでしょう。

完

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A 4判1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

● 上越特産市場 JCC 7/24 運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。 「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

● 常設店舗 「雪国商店」 有楽町駅から徒歩約3分

場所 有楽町交通会館1F

営業時間 11:00 - 19:00 年中無休（年末年始は休業）

「雪国商店」、「雪国マルシェ」

お問合せ先: JCV 東京情報センター

TEL: 03-5218-7730

● 新潟・上越妙高 「うまさ直送! 雪国マルシェ」

日時 6月24日（土）、25日（日） 会場 有楽町 交通会館1F 開業時間 11:30 - 17:30

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋: 090-4730-9032 rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp（鯉橋メール）

◇ 6/11(日) ~ 20(火)

新宿末広亭・夜の部＝鯉橋主任興行＝

時間: 午後4時半～8時半

木戸銭: 3,000円(65才以上2,700円)

午後6時以降入場は2,500円、仲入り後(午後7時ごろ)

入場は1,500円。

主任: 瀧川鯉橋。

ほかに松鯉、南なん、円雀、正二郎など出演

お問合せ: 03-3351-2974(末広亭)

◇ 6/30(金) 七人の侍＝流浪の落語勉強会＝ <7/26(水)も>

時間: 午後1時～3時半ごろ

木戸銭: 1,500円 出演: 枝太郎、榮生、鳳志、鯉橋、小助六

会場: お江戸日本橋亭(三越前)

※現在、スリッパ貸出し中止中の為、室内履きなどのご持参をお勧めいたします。

◇ 7/1(土) ~ 5(水) 上野広小路亭・昼の部＝鯉橋主任興行＝

時間: 正午～4時半 木戸銭: 2,000円

主任: 瀧川鯉橋。ほか詳細未定。

※現在、スリッパ貸出し中止中の為、室内履きなどのご持参をお勧めいたします。

お問合せ: 03-3833-1789(広小路亭)

☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

会員ひろば

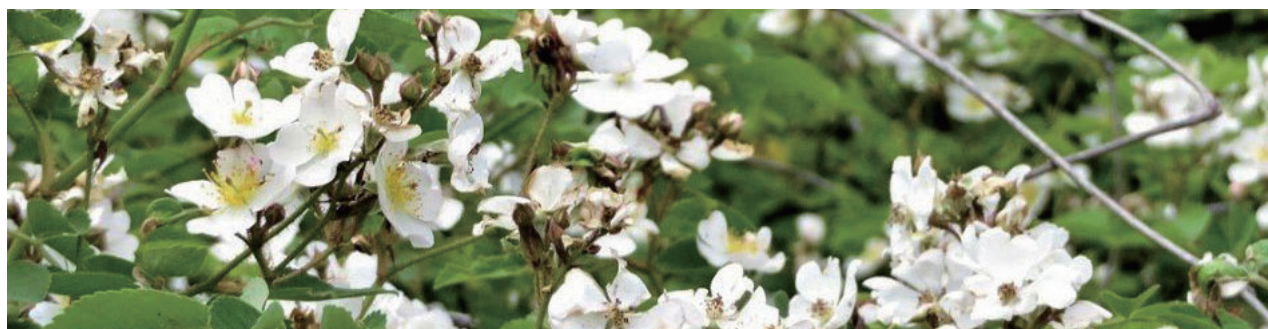
令和5年3月と小川未明「野ばら」

溝口 良二（東京在住、旧高田市出身）

令和5年3月は記憶に残る月でした。3月は世界中に大流行したコロナウィルス感染がやっと収束に向かう状況になりました。日本もコロナウィルス予防策が緩和され自粛期間から解き放され、更に海外からの規制も緩められ、外国人が円安と相まって急増し、繁華街はコロナ以前の賑わいを見せました。私たちも有志による懇親会を開き、14名の参加者が集い、3年ぶりの対面の会は楽しい語らいの場になりました。

今年も温暖化が進みその影響で、桜の開花、満開が早まり、各地の名勝地には多くの行楽客や外国人が観桜を楽しみました。また、WBC 予選から決勝まで栗山監督が率いる侍ジャパンが大活躍して優勝したので、この二つのニュースが連日連夜テレビに映し出されました。今年の3月は楽しく嬉しい感動の月でした。

一方、3月の朝日新聞の「折々のことば」に小川未明の童話「野ばら」が紹介されていました。概略は都から遠く離れた国境に両国から派遣された老人と青年。二人は仲良く将棋を楽しむ中に。ある日戦争が始まり、青年は戦地に赴くも惨敗。老人は戦死した青年を悼み、野ばらが枯れた後、暇乞いをし、郷里に帰ったと言う話です。図書館からこの本を借りて読後、小川未明は今日のウクライナとロシアの戦争を予見しているかのように思えました。あらためて「野ばら」に感銘を覚えました。



上越市からのお知らせ

●ふるさと納税の取り組みを拡充しました

上越市では、ふるさと納税を受け付けています。令和4年8月より、ふるさと納税ポータルサイトの活用を開始するとともに、上越産品の魅力発信と需要を高めるため、様々な産品を寄附に対するお礼の品に追加しました。

『ふるさと上越』への温かい応援をお願いいたします。

【参加しているポータルサイト（6サイト）】

- ・ANA のふるさと納税 ・さとふる ・ふるさとチョイス
- ・JREMALL ふるさと納税 ・ふるぽ ・楽天ふるさと納税

【主なお礼の品】

① 上越市への来訪機会を創出するもの

- ・市内飲食店食事券（料亭、ワイナリー、寿司店等）・市内宿泊施設利用券（温泉宿、ゲストハウス等）
- ・体験サービス（施設貸し切り、市内観光プラン、観光列車乗車券、墓参り、掃除、草刈り、新聞定期購読等）

② 食料品 米、餅、味噌、菓子、野菜、果物、肉、酒類（日本酒、ワイン等）、お茶、その他飲料品、さかきん発酵鍋等

③ その他 工業製品、雑貨など 照会先：総合政策課 企画調整係（TEL：025-520-5625）



上越産の美味しいお米もたくさんご用意しています。



「えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）」
お食事付プラン乗車券もご用意しています。

●『ぷつつん ojisan（おじさん）』がふるさと納税を応援！



『ぷつつん Ojisan（おじさん）』をご存知ですか？

上越市がふるさと納税をがんばると聞き、「応援しなきゃだめだねっかね！」という思いから、音楽仲間たちと組んだバンドです。この度、正式に「ふるさと納税応援バンド」として活動することが決定しました。

1st シングル「上越でおまんといつまでも」は、自虐と郷愁がテーマの楽曲です。

（ユーチューブでご覧いただけます。）

ミュージックビデオには、上越の名店や懐かしのお店の写真がたくさん登場し、さらには、越後上越上杉おもてなし武将隊やダンススクールの子供たちが、ミュージックビデオをさらに盛り上げています。

ぜひ、『ぷつつん Ojisan（おじさん）』を広めてください。

（有）上越商業サービス公社ふるさと市場取次再開のお知らせ

物産センター閉店後、一取次を休止しておりましたが、6月6日より再開いたしました。

今後は、上越妙高駅構内の「さくら百嘉店」よりお届けいたします。

取次一覧表を同封いたします、ぜひご利用くださいませ。



●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の思い出やご経験、上越魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先 事務局：k.miyazato@araip.co.jp

皆様には、くれぐれも健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和5年7月25日の発行です。